

平成 25 年 10 月 1 日

各位

第 4 回保健医療学学会集会長
西村 敦

保健医療学学会第 4 回学術集会のご案内

時下、各位におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、保健医療学学会第 4 回学術集会を下記のとおり開催いたします。つきましては、日頃の研究成果や臨床経験をご発表いただきたく、演題募集のご案内を申し上げます。あわせて、多くの皆様のご参加を謹んでお願い申し上げます。

記

期 日 : 2013年12月1日(日) 10:30~16:45 (受付開始 10:30)
会 場 : 藍野大学 藍野ホール (JR京都線 摂津富田/阪急京都線 富田)
〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-4
※JR摂津富田駅北口よりスクールバスあり

特 別 講 演 ① : 「ケアとは誰のなにをケアしているのか」

講師 大阪大学大学院文学研究科 教授 中岡 成文

特 別 講 演 ② : 「米国におけるアスリート支援」 (大阪電気通信大学スキルアップ講座共催)

講師 Los Angeles Dodgers・Head Athletic Trainer Physical Therapist
Susan A Falsone

一 般 演 題 : 8 題 口述発表のみ

症 例 報 告 : 3 題 口述発表のみ

演題応募期間 : 2013年10月1日(火) ~ 10月25日(金) 正午

(募集要項はホームページ参照)

参 加 費 : 会員 3000 円 会員外 3500 円 学生 500 円 / * 逐次通訳あり

昼食懇親会費 : 1000 円 (希望者のみ 要事前申込)

* 昼食懇親会参加申込について

①ご氏名、②所属施設名、③職種名を、11月15日(金)までに、E-mailにてお申し込み下さい。申し込み手続き完了は、E-mailでの返信でお知らせいたします。

* 参加費のお支払いは、学術集会当日受付にてお願いいたします。

【問い合わせ・連絡先】 藍野大学 平山 朋子

Email: t-hirayama@pt-u.aino.ac.jp TEL 072-627-1711 FAX 072-627-1753

(できるだけEmailでお願いします)

保健医療学学会 第4回学術集会

プログラム

◆会場 藍野大学 藍野ホール (JR 京都線 摂津富田駅/ 阪急京都線 富田駅)

◆プログラム(予定)

- 10:00 ~ 受付開始
- 10:30 ~ 開会の辞、集会長挨拶
- 10:35 ~ 12:30 一般演題発表
- 12:30 ~ 13:30 昼食・休憩
- 13:30 ~ 14:00 保健医療学会第4回総会
- 14:00 ~ 15:00 講演①
『ケアとは誰のなにをケアしているのか』
講師：大阪大学大学院文学研究科 中岡 成文
司会：藍野大学医療保健学部理学療法学科 堀 寛史
- 15:10 ~ 16:40 講演②
『米国におけるアスリート支援』
(大阪電気通信大学スキルアップ講座共催)
講師：Los Angeles Dodgers Susan A Falsone
司会：大阪保健医療大学 境 隆弘
通訳：関西福祉科学大学 廣島 玲子
- 16:40 ~ 閉会の辞
- 16:45 ~ 終了

* 右記、保健医療学会ホームページに掲載予定 URL <http://www.s-ahs.org/>

講演①

『ケアとは誰のなにをケアしているのか』

講師： 中岡 成文

(大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室)

【内容】

講師の中岡氏は鷺田清一（前大阪大学総長）と共に、臨床哲学という試みを引き受け、1998年に大阪大学文学研究科に臨床哲学研究室を創設した。その後、ケア、教育、芸能、セクシャリティ、科学技術、環境などのテーマについて、実際の社会の中でそれに関わっている人たちとの対話や議論を行っていきながら、「何が問題であるのか」を探しだし、研究プランをデザインし、それを遂行している。

本講演では、セラピストが行う行為（ケア）は、患者のためなのであるが、その行為は患者の「どこ」または「なに」に注目して行われているのか、セラピスト自身にどのようなにはねかえってくるのか、という問いを考える中で、セラピストの行為としてのケアを考え直す。

セラピストにとって必ずしもなじみがある切り口とはいえない「臨床哲学」から普段行っているケアを一度立ち止まって、考え直すきっかけになって欲しい。

【講師プロフィール】

1950年生まれ。

京都大学大学院文学研究科哲学専攻博士課程単位修得退学。文学修士。福岡女子大学専任講師、大阪大学助教授などを経て、

1996年9月、大阪大学大学院教授。
2000年4月より医学系研究科「医の倫理学」教授を兼任。

2005年から2年間、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD) 初代センター長。



講演②

『米国におけるアスリート支援』

(大阪電気通信大学スキルアップ講座共催)

講 師： Susan A Falsone

(Los Angeles Dodgers・Head Athletic Trainer Physical Therapist)

【内 容】

講師の Falsone 氏は、女性理学療法士として初めてメジャーリーグのヘッドトレーナーに就任し、シーズン中メジャーリーグ選手のコンディショニングに従事している。その傍ら、野球選手以外にも米国トップレベルのスポーツ選手が多く利用するスポーツクラブの副社長でもあり、利用者であるアスリートのコンディショニングを中心に支援を行っている。

本講演では、後者のトップアスリートに対する支援内容を中心に、米国のアスリートが抱える身体機能の問題や、それに対する理学療法士としての対応について事例を交えて紹介する。

【講師プロフィール】

1996年 Daemen College 卒 (理学療法士)

リハビリ施設、大学女子バスケットチームの
トレーナー等で活躍

2000年 修士号取得 (Sports Medicine)。

2001年～スポーツクラブ Athlete's Performance 副社長

2007年～米国メジャーリーグ Los Angeles Dodgers の
チーム理学療法士

2012年～同チームのヘッドトレーナー

※スポーツ選手へのアプローチに関する研究業績多数

